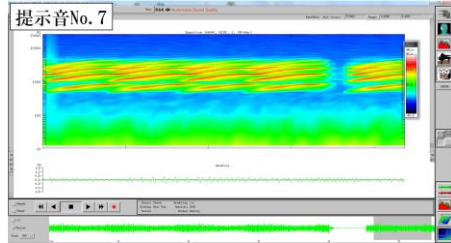


共同研究成果報告書

研究テーマ名	ボイスナビシステムを用いた危険音設計に関する研究
企業名等	三共電子株式会社
HPアドレス	http://www.voicenavi.co.jp/
製品開発のために企業が利用したセンターの業務名（利用年度）	次世代産業創出共同研究（平成27年度）
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>ボイスナビシステム（音声再生ボード）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>緊迫感があると認識された音のソノグラム</p> </div> </div>	
<p>◆概要と特徴◆</p> <p>ボイスナビシステムで再生される音・音声について使用環境に応じた音の提案をしていくために、研究課題として「危険音」を取り上げ、主観評価実験などを通して、注意喚起性の評価を行った。共同研究の中で12種類の提示音について5段階尺度の印象評価実験（被験者実験）を実施し、因子分析によって「緊迫感因子」「金属性因子」「不快因子」の3つの因子を抽出することができた。緊迫感因子の得点の高い提示音では、周波数が変調する特徴が見られた。</p>	
<p>◆研究開発における役割◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声再生ボードの製作（企業） ・音・音声データの作成/加工（企業・センター） ・印象評価実験（企業・センター） ・実験結果の集計・分析（センター） ・先行研究の調査（企業・センター） 	
<p>◆販売実績、見込み◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の顧客におけるボイスナビシステムの使用環境やニーズを把握し、音の提案ができるように準備を進める。 ・「危険音」として使用する場合、認知に係る評価も必要となるため研究開発を継続する。 	
担当者	材料技術部門 製品科学部（部長）北沢俊二（担当）小杉 俊 TEL 026-226-2812（代表） 026-226-2107（直通） メール kogyoshiken@pref.nagano.lg.jp